

法学部政治学科2022年度カリキュラム 卒業必要単位数：128単位

<p style="text-align: center;">卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー：DP)</p>	<p>政治学科は、教育の理念に基づいて定められた下記の5つの能力を身につけ、所定の期間在学し、法学部政治学科が定める所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>(DP1) 建学の理念を实践する力〔理解、関心、意欲、態度、主体性〕 仏教の教えと禅の精神に基づいた自分をより高める自己形成と学問研究を密接に関連して行うことができる、駒澤大学の学生としてのアイデンティティを備え、主体的に地域社会、国際社会、産業界の発展に貢献することができる。</p> <p>(DP2) 幅広い教養、多様性の理解と尊重〔知識、理解、関心、意欲、態度、主体性、多様性、協働性〕 政治学のみならず社会、人文、自然、ライフデザインに関する多角的な知識と深い教養を体系的に身につけ、国内外の多様な文化・価値観の違いを理解し、相手を思いやる態度を持ちながら他者と主体的に協働することができる。</p> <p>(DP3) 情報分析力と問題解決力〔技能、思考力、判断力、表現力〕 現代社会における政治・行政に関する問題について、情報を収集・分析し、思考することにより、適正な判断を行い、それを効果的に発信することができる。</p> <p>(DP4) コミュニケーション能力〔技能、思考力、表現力、主体性、多様性、協働性〕 外国語の基本的技能を習得し、コミュニケーション能力を身につけ、異文化を理解し、自らの考えを表現することができる。</p> <p>(DP5) 専門分野の知識・技能の活用力〔知識、技能、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性〕 政治学科の学生として、政治と社会・法・経済を見る眼を養い、高い倫理観と社会的責任を持つ人間性を持つとともに、専門知識と技能を活かし、論理的に思考し、分析し、問題の解決に取り組むことができる。</p>
<p style="text-align: center;">教育課程の編成方針 (カリキュラム・ポリシー：CP)</p>	<p>政治学科は、「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」に掲げた5つの能力を身につけるために「駒澤育人基礎プログラム」(全学共通科目)と政治学科の専門教育科目をシームレスに接続させ、有機的に結びつけた4年間の教育課程を編成する。教育課程の体系的性をわかりやすく明示するために、科目間の関連性や学修順序を示すナンバリングや履修系統図(カリキュラム・マップ)を作成する。また、アセスメント・ポリシー(評価の方針)を策定し、これに基づき学生の学修成果の可視化を行い、そこで得られた評価結果を検証し教育課程や教育方法の改善を図る。教育内容、教育方法、評価については下記に定める内容に従う。</p> <p>1. 教育内容 1) 仏教の教えと禅の精神について理解を深め、宗教に対する正しい認識を身につけることを目的とした「仏教と人間」を必修科目として開講する。 2) 高校までの学びから大学の学びへの転換を図り、自立的で自主的な学習態度を身につけることを目的とした科目「新入生セミナー」を初年次を開講する。 3) 実用スキル教育として「キャリア教育」と「実用英語教育」に関する科目を開講する。「キャリア教育」では、社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力を身につけるための教育を行う。(「実用英語教育」では、「聞く」「話す」に重点を置いた英語教育を行う。)このほか、日本語の「読む」「書く」の基礎的なレベルを身につける「日本語リテラシー教育」、ICTスキルおよびICTリテラシーを身につける「ICT教育」に関する科目を開講する。 4) 社会、人文、自然、ライフデザイン分野において、多角的な知識と深い教養を体系的に身につけられるように科目を配置する。 5) 専門科目では、1年次の学生に対して、政治学全般の入門としての「政治学基礎」と政治を考える土台となる「憲法」の2科目を全員履修科目として開講する。また、政治学の基本的理論と考え方の理解を深められるようにするため、「現代政治分析入門1」・「現代政治分析入門2」・「日本政治入門」・「現代政治理論入門」・「行政学・公共政策入門」・「国際社会入門」・「国際関係入門」の7科目の「選択必修・基礎」科目群を開講し、学生が自らの関心と2年次以降のカリキュラム選択の方向性に合わせて受講するように促す。 2年次以降は、コース制を設ける。各コースでは、それぞれ人材の育成方針を掲げ、学生が適切なコース選択をできるように配慮する。コースとして、「現代社会と政治コース」、「行政・公共政策コース」、「国際・地域研究コース」、「政治とメディア研究コース」の4つを設け、それぞれのコース毎に関連する「選択必修・基礎」科目群と「選択必修・発展」科目群を配置し、学生が適切な科目を受講するように促し、政治学への体系的な理解と実践を図る。コースは届け出制であり、選抜制ではない。 6) 演習科目として、2年次以降、「基礎演習」(2年次)、「演習Ⅰ」(3年次)、「演習Ⅱ」(4年次)を設置し、少人数教育を生かした専門力の養成を行う。科目の特性に応じ、教員や他の学生と対話を通じて、政治学におけるアカデミックな共同研究・個人研究や、政治問題・公共政策へのフィールドリサーチやディベート等、多彩な教育研究活動を実践する。 7) 専門科目として「政治学特殊講義」を設置する。「政治学特殊講義」では、基礎科目の展開科目、社会的関心の高い先端的な政治学領域の科目、具体的な公共政策を探究する科目などを展開する。「政治学特殊講義」で取り扱う内容は、定期的に見直しを行う。また、「実務者講座」「ジャーナリズム論」等、公務員・議員・ジャーナリストなどの社会人実務者を招いた特別形態授業科目を設置し、政治・行政・メディアの実務を幅広く学ぶ機会を提供する。</p> <p>2. 教育方法 1) 「仏教と人間」は、共通のシラバスに基づいて講義が行われ、その中に「坐禅」の実習を含めることで、禅の精神に触れる機会を設ける。 2) 教養教育科目に配置されている「新入生セミナー」では、専門科目の学修につながる問題の発見・分析能力、論理的思考力、読解力、表現力等の基礎的学修能力を身につける。 3) 演習・実習科目においては、アクティブ・ラーニングを取り入れた教育を行う。大人数になりやすい講義科目においても、可能な限りアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を心がける。 4) 演習科目(ゼミ)では、事前に募集説明会や担当教員による選抜を実施し、原則少人数制による担当教員による手厚い指導を行う。 5) eラーニングシステム等のWeBシステムを活用することで、学生が授業時間以外に主体的に学修する時間を増やし、担当教員と学生の密接なコミュニケーションを促し、学んだ知識の理解を深め、単位の実質化を図る。 6) 成績評価の観点と成績評価基準を明確にし、教員と学生との間で評価内容・評価方法の認識を共有し、科目の成績評価基準の標準化を行うことで、成績評価の公平性、客観性、厳格性を高める。 7) 学生調査・アンケートや学修成果を測定するアセスメント・テストの結果に基づく客観的な評価指標に基づく全学的な検証を行い、教育内容や教育方法の改善に積極的に活用し、学生へのフィードバックを行う。</p> <p>3. 評価 政治学科では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)の3つのポリシーに基づき、学生の入学時から卒業後までの成長を視野に入れ、教育課程レベル(法学部政治学科)、科目レベル(個々の科目)の2段階のレベルで学修成果の評価・測定を行う。</p>
<p style="text-align: center;">入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー：AP)</p>	<p>政治学科は、政治学・法学の基本となる公民、歴史、地理などの社会科系科目に特に興味があり、それらの科目を含めた幅広い基礎学力を有するとともに、主体的に問題を発見し、分析・検討することのできる能力の習得に関心がある学生を求め、本学科では、こうした理解を持った受験生を適正かつ公正に選抜するために、多面的・総合的な視点による多様な入学者選抜を行う。</p> <p>1. 法学部政治学科の求める学生像 (AP1) 高等学校の教育課程を幅広く修得し、中でも「国語」「英語」についてよく身につけている。さらに、「地理歴史」「公民」「数学」「理科」のいずれか1教科についてもよく身につけている。〔知識、理解、技能〕 (AP2) 本学の教育理念を理解し、政治学科で学んだ知識や技能を生かし、物事を深く考察し、興味深い問題の発見やその解決に意欲と目的意識を持つ。〔意欲、関心、態度〕 (AP3) 国・地域・グローバルな政治社会の歴史や現代の出来事について問題意識を持ち、様々な情報に基づき考察を行い、その結果を他者にわかりやすく説明することができる。〔思考力、判断力、表現力〕 (AP4) 国内外の多様な文化・価値観の違いを認識し、他者を尊重し、主体的に協働する意欲を持つ。〔主体性、多様性、協働性〕</p>

科目分野		1年次				2年次				3年次				4年次			
各コース共通 全員履修科目	選必修①	通年科目		DP (1~5)	科目NO.	選必修② (24単位)		通年科目		DP (1~5)	科目NO.	通年科目		DP (1~5)	科目NO.		
		政治学基礎 (4)	DP5	351119050	現代政治理論入門②	DP2	3511058901	外国語Ⅰ (英語) (4)	DP4	3113034700	外国語Ⅱ (英語) (4)	DP4	3113035200				
専門教育科目: 92単位	選必修①	通年科目		DP (1~5)	科目NO.	選必修② (24単位)		通年科目		DP (1~5)	科目NO.	通年科目		DP (1~5)	科目NO.		
		行政学・公共政策入門④	DP3	3511048210	現代政治理論入門②	DP2	3511058901	外国語Ⅰ (英語) (4)	DP4	3113034700	外国語Ⅱ (英語) (4)	DP4	3113035200				
選必修: 40単位	選必修①	前期科目		DP (1~5)	科目NO.	後期科目		DP (1~5)	科目NO.	前期科目		DP (1~5)	科目NO.	後期科目		DP (1~5)	科目NO.
		現代政治理論入門 (2)	DP2	3511058901	国際関係入門②	DP2	3511058920	外国語ⅠA (英語) (2)	DP4	3611200308	外国語ⅠB (英語) (2)	DP4	3611200309				
※は他のコース の選必修	選必修①	通年科目		DP (1~5)	科目NO.	選必修② (24単位)		通年科目		DP (1~5)	科目NO.	通年科目		DP (1~5)	科目NO.		
		現代政治分析入門②	DP2	3521068320	国際関係入門②	DP2	3511058920	外国語ⅠA (英語) (2)	DP4	3611200308	外国語ⅠB (英語) (2)	DP4	3611200309				
選必修: 40単位	選必修①	前期科目		DP (1~5)	科目NO.	後期科目		DP (1~5)	科目NO.	前期科目		DP (1~5)	科目NO.	後期科目		DP (1~5)	科目NO.
		現代政治分析入門1 (2)	DP5	3511058910	現代政治分析入門2 (2)	DP3	3511058920	外国語ⅠA (英語) (2)	DP4	3611200308	外国語ⅠB (英語) (2)	DP4	3611200309				
選必修: 40単位	選必修①	通年科目		DP (1~5)	科目NO.	選必修② (24単位)		通年科目		DP (1~5)	科目NO.	通年科目		DP (1~5)	科目NO.		
		政治コミュニケーション論入門②	DP5	3511119550	国際関係論④	DP5	3521067500	外国語ⅠA (英語) (2)	DP4	3611200308	外国語ⅠB (英語) (2)	DP4	3611200309				
選必修: 40単位	選必修①	前期科目		DP (1~5)	科目NO.	後期科目		DP (1~5)	科目NO.	前期科目		DP (1~5)	科目NO.	後期科目		DP (1~5)	科目NO.
		政治コミュニケーション論入門②	DP5	3511119550	国際関係論④	DP5	3521067500	外国語ⅠA (英語) (2)	DP4	3611200308	外国語ⅠB (英語) (2)	DP4	3611200309				
選必修: 40単位	選必修①	前期科目		DP (1~5)	科目NO.	後期科目		DP (1~5)	科目NO.	前期科目		DP (1~5)	科目NO.	後期科目		DP (1~5)	科目NO.
		政治コミュニケーション論入門②	DP5	3511119550	国際関係論④	DP5	3521067500	外国語ⅠA (英語) (2)	DP4	3611200308	外国語ⅠB (英語) (2)	DP4	3611200309				

専門教育科目:
92単位
選必修:
40単位
※は他のコース
の選必修

現代社会と政治
コース

専門教育科目:
92単位
選必修:
40単位
※は他のコース
の選必修

行政・公共政策
コース

全学共通科目： 30単位	宗教教育科目 (4単位)	通年科目		DP (1～5)					
	教養教育科目 (16単位)	人文分野			DP (1～5)	人文分野			DP (1～5)
		通年科目もしくは半期科目			2	通年科目もしくは半期科目			2
		人文分野科目 (2もしくは4)				人文分野科目 (2もしくは4)			
		社会分野			DP (1～5)				
		通年科目もしくは半期科目			2				
		社会分野科目 (2もしくは4)							
		自然分野			DP (1～5)				
		前期科目			2	後期科目			2
	ICTリテラシー②				自然分野科目②				
	ライフデザイン分野			DP (1～5)					
	前期科目			2・4					
	新入生セミナー②								
	外国語教育科目 (10単位)	前期科目			DP (1～5)	後期科目			DP (1～5)
		英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 I Aaのいずれか1科目(1)	DP2・4	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 I Abのいずれか1科目(1)	DP2・4	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 II Aaのいずれか1科目(1)	DP2・4	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 II Abのいずれか1科目(1)	
英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 I Baのいずれか1科目(1)		英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 II Baのいずれか1科目(1)		英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 II Bbのいずれか1科目(1)		英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 II Bcのいずれか1科目(1)			
英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 I Daのいずれか1科目(1)				英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 II Daのいずれか1科目(1)					
英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 II Daのいずれか1科目(1)				英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 II Dbのいずれか1科目(1)					
保健体育科目 (卒業までに6単位を 上限に履修できる。)	通年科目・半期科目・シーズン科目			DP (1～5)	半期科目			DP (1～5)	
	健康スポーツ・英語②			DP3	健康スポーツ②			DP3	
	健康スポーツ①②			DP3					
	生涯スポーツ実習②			DP3					
生涯スポーツ演習②			DP3						
広域選択：8単位		各科目区分の卒業必要単位数を超えて修得した単位							
履修モデル単位数		48単位	38～48単位			32～40単位		8～12単位	
履修制限単位数		49単位	49単位			49単位		49単位	